

令和 5 年

第 4 回教育委員会会議録

(開会 令和 5 年 3 月 27 日)

(閉会 令和 5 年 3 月 27 日)

岐阜県可児市教育委員会

令和5年3月27日午前9時00分開会

会場：市役所5階第1委員会室

出席委員

堀部好彦君（教育長）

長井知子君（教育委員）

梶田知靖君（教育委員）

小栗照代君（教育委員）

伊藤小百合君（教育委員）

説明のために出席した者

渡辺勝彦君（事務局長）

佐野政紀君（学校教育課長）

上北泰久君（学校教育課主任指導主事）

真野純次君（学校教育課指導主事）

飯田晋司君（教育総務課長）

佐藤一洋君（学校給食センター所長）

三宅愛彦君（教育研究所主任指導主事）

梅田浩二君（こども課長）

出席委員会事務局職員

木村彰伯君（教育総務課総務係長）

小池拓哉君（教育総務課総務係）

日程及び審議結果

1 開 会

2 前回、前々回会議録の承認

3 教育長報告

4 教育委員報告

5 議 事

①議案第9号 可児市立小中学校管理規則の一部を改正する規則の制定について

②議案第10号 可児市立小中学校事務共同実施要綱の一部を改正する訓令の制定について

③議案第11号 可児市教育委員会いじめ重大事態調査委員会委員の委嘱について

④議案第12号 可児市学校運営協議会の設置及び委員の委嘱について

⑤議案第13号 可児市学校運営協議会委員の委嘱について

6 報告事項

①令和5年度のキッズクラブ入室申請状況について

7 各課所管事項

8 委員からの提案協議事項

9 その他

10 閉 会

開会の宣告

- 教育長（堀部好彦君） おはようございます。
令和 5 年第 4 回の教育委員会会議を開催させていただきます。
定足数につきましては、出席委員が過半数を満たしておりますので、この会議は成立するということによりよろしくお願いいたします。

前回、前々回会議録の承認

- 教育長（堀部好彦君） では、前回、前々回会議録の承認について。
- 教育総務課長（飯田晋司君） 前回、前々回ともに変更はありません。
- 教育長（堀部好彦君） 変更なしということで、よろしくお願いいたします。

教育長報告

- 教育長（堀部好彦君） では、私からの報告ということで 3 点よろしくお願いいたします。

1 点は、議会の 3 月定例会、また一般質問、幾つか教育委員会に出ておまして、その中身につきましては、答弁等につきましては後ほどお話があるかと思えます。私からは 1 点のみ、コミュニティ・スクールについての質問をしていただきました。質問を聞いていて、やはりコミュニティ・スクールの趣旨が、議員さん含めて地域の方々に十分に理解されていない部分もあるんだなということを感じました。また、やり方が、広め方がやや拙速で、誤解を生んでしまった学校もあるという感じを受けました。教育委員会も含めて改めて丁寧な取組、進めていく取組にもやり方が必要ではないかなあというふうに思いました。そういう意味で、議会で質問をいただいたということは、コミュニティ・スクールの趣旨や今後の見通しについて説明をするよい機会となったのではないかなあと思っています。これが 1 点目です。

2 点目は、卒業式についてです。

教育委員の皆さんも、卒業式の御参列ありがとうございました。私は西可児中学校で参列をさせていただきました。マスクのことについては、文科省等の指導で、基本自分の判断だよということだったので、どんなふうなのかなあというふうに見させていたんですが、西可児中学校においては入退場、全員外していました。これは外しなさいという指導ではなくて、市教育委員会から出させていただいたマスク着用についてのカウンセラー監修の資料を使って、丁寧な指導がなされたというふうに校長から聞いております。そういったところで子供たちの判断により外していたということで、着用していた部分もあるんだけど、全ての時間、全部外したということではないんですが、マスクについての動きも新たな動きがあるのかなあということを実感しました。

そして、これは皆さんに今後ちょっと考えていただきたいなあと思うことなんですけど、卒業式も含めてなんですけど、来賓のことです。この 3 年、コロナ禍に入って来賓を呼ばなくなった。運動会や体育大会や入学式や卒業式でね。このことについて、今後 5 月以降、5 類になっていくことを考えていったときに、学校はどう判断するんだろうなあということをおもっています。私としては、コミュニティ・スクール導入で、地域の方々

によりお世話になるということを考えれば、そろそろ来賓もお呼びしていいんじゃないかなあと考えています。

そこで併せて考えているのは、この3年間、密を避けるということで感染予防ということでいろんな活動がなくなってきている、指導がなくなってきている部分があるんですね。それはスリム化でよい部分もあるんですよ。例えば入学式の、私も中部中学校のときに感じたんだけど、特に卒業式の練習ですね。入退場の練習だとか、返事の練習だとか、これを教師としては、義務教育最後の大きな式なので、きちっとやらせたいという思いで何回も練習をすることがありました。小学校ほどではないんですけども、入退場きちっといい姿勢でとか、大きな声で返事とかやっていたんですが、それをここ3年十分やれないので、カットせざるを得ないというところがあったんですけども、私の実感としては、いざやってみると、ほとんど練習なしでやったわけだけど、ああ、できるのではないかという感触もありました。

なので、2月、3月の大変忙しいときに、そういった練習の時間が削減できるということはいいことだと思いました。そういう意味でスリム化が進んだという部分もあると思うんですね。本当にやらなくて、そんなに違わないよねという。ただ、スリム化の中で、本当になくしていいのというものもあるのではないかなあと。それが例えば来賓ということだと私は思っていますが、教育委員さん、どう思われるかということをもた聞かせていただけるとありがたいです。これが大きく2点目です。

3点目、本日の新聞で、県内の学校の教職員の人事異動が発表されました。可児市においても発表されているわけですけども、これもこの間の教育委員会会議でもお話をさせていただいたように、大変厳しい状況が3月の初めにあったんですけども、可児市においては、何とか配置されていない学校、教諭が配置できなかった学校に、常勤講師または非常勤講師を何とか少しでも配置できるようにということであらゆる手を尽くした。改めてここで事務局の方々の御努力に感謝を申し上げたいなあとというふうに思います。

あともう一つ、この教職員人事で思うことは、十分な人事配置ができていない状況で4月がスタートします。校長も、3月末に学校の校内組織を考える上で非常に悩む。そういったときに、校長が非常に苦しんで4月をスタートするということを、私たちは想像力を発揮しないといけないと。そういう中で、そんな校長先生方の集まり、校長会で、例えば4月、教育委員会事務局が張り切って令和5年度はこれだ、これを頑張りましょうと言ったとします。そうすると、可児市の校長先生はよい方ばかりですので、何とか受け止めてやろうとされると思うんですけど、もうちょっとうちの苦しさも分かってほしいよねなんていうふうに思われるのではないかなあとということを思っています。なので、私たちが学校を支援する立場であるということも改めてきちっと主張しながら、どんな点で支援をしているのかということも改めて明確にお伝えをすることが大切ではないかなあと考えています。

その意味で、恐らく次回のこの会議ではお示しできると思うんですけども、可児市の方針と重点、今年、今回つくったやつは、そういった市教委がどのように学校を支えていくのかということも前面に主張したのもあると思っています。これについては、また次回お話をしたいと思っておりますので、頭出しということでもよろしくお願いをします。

以上、私からの報告でございます。

教育委員報告

- 教育長（堀部好彦君） では、教育委員さんの報告に入りたいと思います。
- 教育委員（小栗照代君） おはようございます。

私は、3月7日の中学校の卒業式、東可児中学校に見に行っていました。先ほど教育長さんからもお話があったんですけども、コロナ禍ということで、昨年までは東可児中学校では卒業証書を代表の方が受け取っていたんですけども、今回は生徒さんの希望で一人ずつ受け取りたいということで、一人ずつ校長先生がお渡しになっていらっしゃるということです。大変粛々と進められまして、すばらしい卒業式だったなあというふうに思います。

マスクのお話も、先ほどもあったんですけども、基本的にはマスクを外すんですが、合唱のときはマスクをするということで、今年は最後に、昨年まで行われなかった合唱がありまして、練習期間をお伺いしましたら2か月だったということなんですけど、その短い時間に一生懸命練習をして、全学校一体となって、すごい美しくて心強くて、物すごく心に響く合唱だったなあということで本当に感動しまして、終わってからも校長先生にすばらしかったですねというお話をさせていただきました。

それから、卒業式とは違う話なんですけれども、校長先生にお話をいろいろとお伺いしたんですけども、まずコミュニティ・スクールについてです。校長先生が替わると方針も変わってくるということから、方向性はやっぱり同じにしていこうといった教育長の思いをすごく感じていますということをおっしゃっていらっしゃいました。桜ヶ丘は団地自体、高齢化がすごく進んでいるので、いきなりコミュニティ・スクールをするというのがなかなか地域的に難しいんじゃないかと。桜ヶ丘小学校の先生ともお話し合いをして、令和5年度は1年かけて準備という段階にしたいというようなことをおっしゃっていらっしゃいました。正式には令和6年からというふうに考えているというお話をしていらっしゃいました。

先ほど教育長もおっしゃったように、コミュニティ・スクールの趣旨とか、見通しというものを、もう少しお話をし、いろいろとコミュニケーションを取りながら進めていただくということが今後は大事なかなというふうに感じました。

それと先生ですけども、保護者の方々から学校へいろいろと御要望いただくことが多いので、どうしても50点の先生になりがちだというふうに思っていると。勢いのある先生というのは、勢いのある学校になるので、50点の先生ではなくて、そんなふうに勢いのある先生を今後育てていきたいというようなことをお話ししてくださいました。

次に、3月17日ですが、ばら教室の修了式のほうに参列させていただきました。今回は4人の児童・生徒の方が修了されたということで、式典を拝見させていただきましたと、何度も練習してリハーサルをしてきたなどは思うんですけども、本当にきびきびとした入場から始まって、きちんと前を向いて、すごく厳かな雰囲気が進められていました。一人一人が感謝の言葉とか、将来の夢を日本語で発表されたんですけども、全く言葉が分からない状態から日本にいらっやっや、僅かな期間でここまで発表ができるというのは本当にすばらしいなと思いました。保護者の方に向けても、日本語と、あと母国

の言葉で感謝の思いを伝えていらっしやって、保護者の方も涙していらっしやるお姿も拝見させていただきました。

教育長さんが一度は参列したほうがいいよというふうに今までおっしゃってくださっていた、その思いというのが本当によく分かりました。修了したその4名の方は、4月から各学校に登校するという事なんですけれども、今後素晴らしい将来に向かってぜひ頑張ってもらいたいなと思いました。

それから、3月23日、東明小学校の卒業式のほうに参列させていただきました。入学の頃も知っているんですけども、小さい子供たちが落ち着きもなくてきょろきょろとその頃はしていたんですけども、6年間で体も心も大きく育って、健やかに成長されたなという形で拝見させていただきました。東明小学校でも合唱があったんですけども、全員が一丸となって素晴らしい歌声を聞かせてくださいました。

それで、校長先生とお話をしたんですけども、来賓について、先ほど教育長のほうからもお話があったんですけども、多分入学式は今の状態で行いますけれども、卒業式にはきっと来賓の方々にまた大勢来ていただきたいなあと、そういう方向で進めたいなあとというふうに自分も思うということをおっしゃっていました。

○ **教育長（堀部好彦君）** 校長さん、言っておられた。

○ **教育委員（小栗照代君）** はい、そうおっしゃっていました。

ただ、校長先生お替わりになるので、校長先生、東明小学校なんですけれども、校長先生、教頭先生、事務の方とか、指導の方とかがごっそり替わってしまうので、その辺りをちょっと心配しているので、事務がうまくスムーズに引継ぎできるように、準備のほうは力を入れて進めていますというお話をしてくださいました。以上です。

○ **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。

卒業式については、それぞれの校長先生が工夫をされて、現時点でできる最大限をやってくださいろうとしていることを感じて大変うれしかったです。

あと、コミュニティ・スクールについても来年度1年かけて準備をしていきたいというところ、本当にありがたいなあとというふうに思っています。今後、コミュニティ・スクールについて学校訪問等で話題にさせていただけるとありがたいなあとというふうに思っていますが、そのときに大切にしたいなあとと思うのは、コミュニティ・スクールで何をやっているのということではなくて、地域の人や保護者とどんな思いを共有しているんですかということ、つまり可児市流で言えば、どんな「笑顔の“もと”」を育みたいのかということについて、どんな思いを共有しているのか、これを私は一番大切にしていきたいなあと。その意味で、1年間かけて準備をしたいですというのは、まさに思いを共有する時間ではないかなあとというふうに思っています。何をやるかではなくて、どんな思いを共有しているかです。そういった視点で学校訪問して、校長先生やいろいろな先生方のお話を聞いていただくとありがたいなあとというふうに思います。

それから、ばら教室もありがとうございます。ああいった自立しようと頑張っている外国籍児童・生徒を本当に支援していかないかなあとということを思うようになりますよね。ありがとうございます。

○ **教育委員（長井知子君）** おはようございます。よろしくお願ひします。

私も、ばら教室の修了式と小学校・中学校の卒業式に行ってきました。

ばら教室の修了式は、ふだん外国籍の子供と接することがないので、修了式に出たときに、子供たちの笑顔が本当にきれいで、目がすごくきれいで純粋な笑顔をしていたので、国籍は違っても、どの子供もやっぱり宝なんだなあというのを思いました。これから、本当にまだ日本語もしゃべれない、分からないという状況でそれぞれの小学校・中学校に戻り、きっと大変だと思うんですけど、それを乗り越えて、強い心を持って頑張ってもらいたいなと思いました。

あと、中部中学校の卒業式に行ってきました。どの学校もそうだと思うんですけども、出させていただいて思ったのは、校長先生がとても先生を信頼しているなということと、先生方の子供たちを思う気持ちが伝わってきた式でした。退場するとき、ちょっとした先生方のサプライズがありました。それを見たときに、おめでとうという気持ちだけでなく、これからも君たちのことを見守っているし、応援しているよというのが伝わるようなサプライズで、それを見た子供たちもぼろぼろ泣いているのを見て、すごくいいなあと思ったのと同時に、子供たちにもそれがしっかりと伝わったろうなと思いました。

小学校は旭小学校に行きました。毎回校長先生とお話しすると、とても子供たちのことを思う気持ちが毎回伝わってきて、卒業式では今度は子供たちからサプライズがあって、僕たち卒業しますと終わったときに、ちょっと待ってくださいと言って、もう一人卒業する方がいますとあって、校長先生に花束をサプライズで渡されていたのを見て、ああ、やっぱり先生方の子供を思う気持ちは子供たちにちゃんと伝わっているんだなあというのを思いました。両方の学校とも今年から合唱があったので、それを見て親さんもやはり感動されていて、いいなあと思いました。

あと、コミュニティ・スクールのことも旭小学校でお聞きしたんですけども、とてもうまく回っているようで、地域の方も子供たちの学校のお役に立ちたい、子供たちの笑顔から元気がもらえる、そして先生方も今までのこういった子供たちの課外活動に対しての、こういった細かな仕事を地域の方がしてくださることで、先生方の負担も減って心の余裕もでき、お互いが子供たちにウィン・ウィンな関係でいるとおっしゃっていました。次回行ったときは、どんな思いを共有しているのかというのを聞いてきたいと思います。以上です。

○ **教育長（堀部好彦君）** ぜひお願いします。

ありがとうございます。大変うれしい報告で、小栗さんに続いて本当にありがとうございます。

よく言われるんだけど、今年卒業した子たちは3年間コロナ禍真ただ中で学校生活を送った。そういう中でも、そんな信頼関係を築かれた可児市の学校教育のすばらしさというのを改めて感じました。これをまた校長会等で、こんな教育委員さんのお話がありましたということで広めていかないかなあということをおもいます。また、教職員と校長との信頼関係、関係のよさというところについてもお話をしていただいて、これも大変うれしかったです。

これは1つ今日紹介しますが、全国的に毎年行っている教職員のストレスチェック調査があります。可児市においては、そのストレスチェックの項目の中に、管理職と教諭、教職員との関係性を問うような項目があります。その項目は、可児市は全国平均よりも

かなり上です。信頼関係があるということです。やっぱり今、長井委員がおっしゃったような事実は、そういった調査の結果にも表れているんじゃないかなあと考えていて、これも今後も本当に大切にしていきたいなあというふうに思っています。ありがとうございます。

○ **教育委員（伊藤小百合君）** おはようございます。よろしく願いいたします。

私も、ばら教室の修了式と小・中学校の卒業式に参列してきました。

ばら教室の修了式は2回目だったんですけども、2回目でもやはり感動して、うろつくとくるところがありました。保護者の方への感謝の気持ちだったりとかを述べるのに、以前は日本語だけだった記憶があるんですけども、若原先生も言ってみえたんですが、母語で話すということで、やはり自分の気持ちの感動をすごく伝えることができるというのをおっしゃっていて、なるほどと思って、本当に保護者の方も涙してみえるお母さんとかもお見えになったので、やはり日本語だと保護者の方も分からない部分もあったりとかするんですけど、母語で話すことによって自分の子供がどう思っているかというのをよく理解できて、いい方向で進んでいるんだなというのを感じました。

あとは卒業式のほうなんですけど、広陵中学校のほうは自分が保護者というの兼ねていまして、出席させていただきました。小学校のときに、卒業式のときなんですけれども、朝、登校をしたら、合唱が歌えないということを言われまして、子供たちが残念だったんですけど、コロナ禍で仕方がなかったんですが、やはりその気持ちがあったのか、卒業式は1曲歌うことができたんですけども、その歌うはずだった曲を卒業式のときに歌うことができて、結構完成度も高くて、とてもいい式でよかったと思っています。クラス活動、最終の学級活動のほうも入ってきたんですけども、そのときには、うちのクラスは先生が日頃の生活してきたものを、普通だったら音楽をつけて流してくれるんですけど、先生の生演奏で、それも卒業式に歌った歌を一生懸命弾いてくださって、皆さん、子供たちも、保護者もちろんそうなんですけど、すごく感動していい式になりました。

あと、小学校のほうは南帷子小学校のほうに出席しまして、こちらのほうは久しぶりだったんですけども、袴の子が4名いまして、校長先生と踏まないか大丈夫かねえなんて言いながらも見守っていたんですけども、そこら辺はちょっと短めにしてあったりとか、上手に裾を上げて階段の上り下りとかをしていて、踏まずにそれは済んだんですけども、南帷子小学校も人数が60名ということで2クラス、子供を囲むようにコの字型という形で保護者が座る席の方法を取ってみえて、やっぱりビデオを撮ったりとか、マスクがないというのもいろいろあるんですけども、校長先生にお聞きしたら、やっぱりコロナ禍でなかなか子供の様子を見ることもできなかったし、場所もうまく使えるのでということで、こういう形を取って卒業式を迎えて、こういう形もいいなあと思って見てきたんですけども、よかったです。

あとちょっと別件で、子供と3月19日にa1aでジュニアオーケストラのレゾネアというのが開かれたのを見に行ってきたんですけども、ちょっと遅れていったんですが、駐車場が満車で、久しぶりにa1aの駐車場が、ちょっと私もあまり行事に行っていなかったんですけど、満車というのにびっくりして、1階と2階席、大きいホールでやったので、1階席もすごく、無料ということもあったのかもしれないんですけど、満席で、

1部と2部で2部から入ったんですけど、1部はもう1階は入れないからといって、2階とかに上がってくださいという案内もありました。コロナ禍がまだちょっと続いているんですけども、だんだんコロナ禍も解消というか、少しずつですけど、元に戻りつつあるんだなというのを実感した1日でした。以上です。

○ **教育長（堀部好彦君）** うれしいお話を聞きました。卒業式の件、ありがとうございます。

ばら教室については、卒業する児童・生徒が母語で自分の思いを語るという、これは親さんへの情を伝えるという点で大変いい工夫だなあとということを思ったんですけども、と同時に今考えているのは、私どもがばら教室やそれぞれの学校の日本語教室の方々とも連携してということで考えているのは、母語も大切にしたい指導です。どうしても日本語を話せるように、日本語で考えられるようにということで、日本語の指導を中心にやってきた経緯がこれまでであったんですけども、今、母語も同時に指導しながら、母語で考えることも大切にしながら、両面、母語と日本語の両面を考えたバイリンガルの指導というのが大切にされているという流れがあります。日本語だけを指導することよりも、母語と一緒に指導していく、考えていくことのほうが学力の向上につながるというエビデンスがあります。大学の先生の話も聞いて。なので、ばら教室のみならず、それぞれの小・中学校でも母語で考えたり、母語で話をしたりするような機会をこれまでよりも増やしていきたいなということを思って、今研究所とも相談をしているところですので、御承知おきください。

○ **教育委員（梶田知靖君）** おはようございます。

私も、小・中学校の卒業式とばら教室の修了式のほうへ出席をさせていただきました。

まず、3月7日に蘇南中学校の卒業式のほうへ参列をさせていただきました。コロナ禍ということで、まだ先生方をはじめ卒業生の皆さんや保護者の方、マスクを着用での開催ということになりましたけれども、国歌と校歌は静聴だったんですが、最後に卒業生の子供たちの合唱を久しぶりに私も聞かせていただきまして、とても感動しまして、隣にいらっしゃった教頭先生も涙ぐんでみえて、本当にいい卒業式だなあと感じました。やっぱり歌があると締まるなあと感じます。今年の卒業生の子供たちは、6年生のときの卒業式は卒業式の合唱が歌うことができなかつた子供たちということもあって、そんな思いも詰まった中学校の卒業式の合唱だったのではないかなと感じました。

それから、3月17日に私もばら教室の修了式のほうへ出席をさせていただきました。初めてということもあって、今回フィリピン国籍の子供たちが4人修了するということが、本当に小栗委員さんや皆さんがおっしゃっていたとおり、5か月でこんなに日本語が上手にしゃべれるものかと本当にびっくりしました。上手に子供たちが日本語をしゃべって、自分たちの夢を日本語で最後にお話をしてくださったんですけど、今教育長言われたとおり、母語でも説明があったんですけども、本当にきれいな日本語で話をしてくださって感動しました。

それから、3月23日に今渡北小学校さんの卒業式に参列をさせていただきました。ここでも子供たちの卒業生の合唱を聞かせていただきまして、中学校のときはそれぞれ席での合唱だったんですけども、小学校はステージのほうにみんな上がって、本当にどれぐらい練習したのかはちょっと聞いていないんですけども、整列するときもあつと

いう間に整列をして、すばらしい歌声を聞かせていただきました。

卒業生の答辞をした男の子が、ちょっと私、今回仕事でちょっと行けなかったんですが、a l aのほうで演劇が3月の頭に……。

○ **教育長（堀部好彦君）** はいはい、私も行きました。

○ **教育委員（梶田知靖君）** 行かれましたか。そのときに出演をされた子供が答辞を上手にしゃべってみえて、私、告辞のほうは用意までしてくださっているんですけども、やっぱり壇上に上がると緊張してしまいまして、うまくしゃべれたのかなあと思いますが、本当に上手にしゃべってみえて、在校生の送辞も男の子と女の子で2人交互にしゃべって、本当に上手にしゃべるなあと思って聞いていました。

卒業式が終わった後に、校長先生の計らいで、クラスごとのクラス活動のほうもそれぞれ拝見をさせていただいたんですけども、先生方が1年生からの子供たちの成長過程の写真を織り交ぜながらDVDを流していらっしゃったんですけど、それを見ている子供たちが本当に楽しそうに見ていたので、とても安心しました。

この3日間を通して思ったことは、可児市の子供たちは外国籍の子供たちが本当に増えているなあと思いました。今渡北小学校の校長先生にばら教室のことをお話しさせていただいたんですけども、ばら教室を経ずに直接小学校に来るお子さんもやっぱりいらっしゃるということで、そういったお子さんだと、担任の先生が一から指導ということになるので、そういったところでちょっと苦勞をしていらっしゃるようなお話も聞かせていただきました。

あと、それからコミュニティ・スクールのことも今渡北小学校の先生と少しお話をさせていただいて、村上校長先生が今渡北小学校にいらっしゃってこれで2年、今度東可児中学校さんに移られるということなんですが、前丹羽委員さんがコミュニティ・スクールの関係で地元の方に声をかけていただいて、今年で結構話が活動的に煮詰まって、来年からさあやろうというときに私が異動になってしまったので、ちょっと地域の方に申し訳ないなあということを少し残念がられておられました。ただ今度、伊佐治校長先生はもともと今渡北小学校さんにいらっしゃった方ということもあるので、うまく引継ぎができるのかなということもおっしゃっておられました。

それから、あと不登校について少しお話を聞かせていただいて、今渡北小学校さんは1,000人近く今児童がいらっしゃるんですけども、そこまで不登校の子たちは、この規模では少ないというようなことはおっしゃっておりました。

なので、ばら教室を見させていただいて本当に感動したんですけども、もっとうまく活用できるといいのかなあと思いました。以上です。

○ **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。

梶田委員も皆さんもそうなんですけれども、本当に校長先生とよい関係をつくってくださってありがとうございます。校長さんが教育委員さんに心を開いているんなお話をされたり、子供たちの活動を紹介してくださっている感じが伝わってきて、これも本当にうれしかったです。

あと梶田委員さん、告辞デビューお疲れさまでした。デビューが蘇南中学校だったんやね。緊張したでしょう。あれだけの人数の前でしゃべるといのは、私たちも緊張しますから、あの体育館びっしりですからね。お疲れさまでした。

- **教育委員（梶田知靖君）** ありがとうございます。
- **教育長（堀部好彦君）** それから、ばら教室のことも皆さん話題にしてくださったんですけれども、子供が夢を語っている姿、本当に感動します。今、あの子たちは大変具体的なロールモデルというか、目指す姿が身近に存在しています。学習指導員さんの話を前にしたことがあったと思います。18歳の女性の方が今年度採用されているということ、ああいった実際に自立して生き生きと笑顔で暮らしている先輩の姿を見ることで、やっぱり自分の夢もより具体的に持とうとできるんじゃないかなあと。だから、彼らの語りもきっと力強かったんだろうというふうに思っています。ありがとうございました。

議事

- **教育長（堀部好彦君）** では、次に議事に入りたいと思います。
- **事務局長（渡辺勝彦君）** では、議案書を御覧ください。
表紙の裏ページの目次のとおり、本日は議案が5件です。
議案第9号 可児市立小中学校管理規則の一部を改正する規則の制定について、議案第10号 可児市立小中学校事務共同実施要綱の一部を改正する訓令の制定について、議案第11号 可児市教育委員会いじめ重大事態調査委員会委員の委嘱について、議案第12号 可児市学校運営協議会の設置及び委員の委嘱について、議案第13号 可児市学校運営協議会委員の委嘱について、以上5件についてよろしくお願いします。
- **教育長（堀部好彦君）** その他の児童生徒校内事故、問題行動、交通事故等の記録については、個人情報やプライバシーに関する情報のため、教育委員会会議規則第14条の規定により非公開とすることにしたいと思いますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

異議がないようですので、この件については非公開といたします。

では、議案第9号 可児市立小中学校管理規則の一部を改正する規則の制定についてを議題とします。

- **学校教育課長（佐野政紀君）** 1ページを御覧ください。
議案第9号 可児市立小中学校管理規則の一部を改正する規則の制定について。
可児市立小中学校管理規則の一部を改正する規則を次のとおり制定する。令和5年3月27日提出、可児市教育長 堀部好彦。
記1. 改正理由、教育公務員特例法及び教育職員免許法の一部を改正する法律により、学校教育法施行規則に研修主事に関する条が加えられたため。
2. 改正内容、第16条第1項、新第8項、教育相談コーディネーターを置き、教育相談に関する連絡調整、指導及び助言を職務とする。新第16条の2、学校に研修主事を置き、研修計画の立案や連絡調整、指導及び助言を職務とする。
3. 施行日、令和5年4月1日。
4. 改正文、以下のとおり。
2ページ、3ページにつきましては、担当より補足をさせていただきます。
- **学校教育課主任指導主事（上北泰久君）** お願いします。2ページ、3ページです。2ページの教務主任等のところなんですけど、改正後のところですよ。教育相談コーディネ

ネーターにつきましては、既に各学校教育相談コーディネーターを配置しておりますが、以前の改正のときに加えていなかったということで、ここで改正させていただいております。

教育主事についてです。教員免許状更新等の手続が廃止となり、各学校で管理職の下で主体的・自律的な研修を行います。そして、そこで研修主事を置くことになります。研修主事の役割は、研修計画の企画・立案、その他研修に関する事項などを管理職、研修リーダーと共に行っていきます。

2ページ、3ページについては、改正前、改正後の内容が記されておりますので、よろしく申し上げます。以上です。

- **教育長（堀部好彦君）** ただいまの説明につきまして御質問、御意見等ありますでしょうか。
よろしいですか。

〔「なし」の声あり〕

それでは、異議がないようですので、この件については原案のとおり承認をいたします。

では、次に議案第10号 可児市立小中学校事務共同実施要綱の一部を改正する訓令の制定についてを議題とします。

- **学校教育課長（佐野政紀君）** 4ページを御覧ください。
議案第10号 可児市立小中学校事務共同実施要綱の一部を改正する訓令の制定について。
可児市学校運営協議会規則を次のとおり制定する。令和5年3月27日提出、可児市教育長 堀部好彦。
記1. 改正理由、可児市立小中学校管理規則の改正に伴い、引用条項にずれが生じたため改めるもの。
2. 改正内容、第2条第4項、「規則第16条の2第2項」を「規則第16条の3第2項」に改める。
3. 施行日、令和5年4月1日。
4. 改正文、以下のとおり。
担当より補足をさせていただきます。

- **学校教育課主任指導主事（上北泰久君）** 5ページを御覧ください。
今、お話がありました引用条項にずれが生じたため改めるものということで、改正後、4のところです。規則第16条の3第2項、ここが改正になりました。よろしく申し上げます。
- **教育長（堀部好彦君）** ただいまの説明について御質問、御意見等ありますでしょうか。
よろしかったでしょうか。

〔「なし」の声あり〕

異議等がないようですので、この件については原案のとおり承認をいたします。

次に、議案第11号 可児市教育委員会いじめ重大事態調査委員会委員の委嘱についてを議題とします。

○ **教育総務課長（飯田晋司君）** 議案書の6ページを御覧ください。

議案第11号 可児市教育委員会いじめ重大事態調査委員会委員の委嘱について。

可児市子どものいじめの防止に関する条例に基づく可児市教育委員会いじめ重大事態調査委員会委員を下記のとおり委嘱する。令和5年3月27日提出、可児市教育長 堀部好彦。

記、可児市教育委員会いじめ重大事態調査委員会委員を次のとおり委嘱する。

1. 名簿、以下のとおり。
2. 委嘱期間、令和5年4月1日から令和7年3月31日。
3. 委嘱理由、任期満了による。
4. 委嘱人数、6人。

委嘱の名簿については、その下にある名簿のとおりでございます。

令和5年3月31日までの任期となっているいじめ重大事態調査委員会委員について、現委員全員が4月からも継続してお務めいただくこととなり、委嘱するものでございます。

ちなみに委嘱の委員さんですけれども、宮本さんが学識経験者、鈴木さんが法律の専門家、弁護士でございます。児玉さんが医師、精神科医でございます。石丸さんが臨床心理士、徳広さんが社会福祉士、早川さんが学校心理士といった専門家の方々でございます。以上です。

○ **教育長（堀部好彦君）** ただいまの説明について御質問、御意見等ありますでしょうか。

よろしかったでしょうか。

〔「なし」の声あり〕

異議がないようですので、この件については原案のとおり承認をいたします。

次に、議案第12号 可児市学校運営協議会の設置及び委員の委嘱についてを議題とします。

○ **学校教育課長（佐野政紀君）** 7ページを御覧ください。

議案第12号 可児市学校運営協議会の設置及び委員の委嘱について。

可児市学校運営協議会規則（令和4年可児市教育委員会規則第3号）第3条に基づき、下記のとおり学校運営協議会を設置し、学校運営協議会委員を委嘱する。令和5年3月27日提出、可児市教育長 堀部好彦。

記1. 設置学校、今渡南小学校、広見小学校、西可児中学校区（春里小学校、南帷子小学校、西可児中学校）。

2. 委員名簿、次ページのとおり。
3. 委嘱期間、令和5年4月1日から令和6年3月31日。
4. 委嘱人数、次ページのとおり。

以下、担当より補足させていただきます。

○ **学校教育課主任指導主事（上北泰久君）** お願いします。8ページを御覧ください。

可児市学校運営協議会委員名簿、今渡南小学校。委嘱人数、校長を含め合計9名になります。名簿は御覧のとおりになります。

9ページを御覧ください。

可児市学校運営協議会委員名簿、広見小学校。委嘱人数、校長を含め10名になります。10ページを御覧ください。

可児市学校運営協議会委員名簿、西可児中学校区。委嘱人数、校長3名を含め合計15名になります。名簿のとおりになります。以上です。

- **教育長（堀部好彦君）** ただいまの説明について御質問、御意見等ありますでしょうか。
よろしかったでしょうか。

〔「なし」の声あり〕

異議がないようですので、この件については原案のとおり承認をいたします。

次に、議案第13号 可児市学校運営協議会委員の委嘱についてを議題といたします。

- **学校教育課長（佐野政紀君）** 11ページを御覧ください。
議案第13号 可児市学校運営協議会委員の委嘱について。
可児市学校運営協議会規則（令和4年可児市教育委員会規則第3号）第3条に基づき、学校運営協議会委員を委嘱する。令和5年3月27日提出、可児市教育長 堀部好彦。
記1. 学校名、旭小学校。
2. 委員名簿、次ページのとおり。
3. 委嘱期間、令和5年4月1日から令和6年3月31日。
4. 委嘱人数、10名。
担当より補足させていただきます。

- **学校教育課主任指導主事（上北泰久君）** 12ページを御覧ください。
可児市学校運営協議会委員名簿、旭小学校。
校長を含め10名の名簿になります。よろしく願いいたします。

- **教育長（堀部好彦君）** ただいまの説明について御質問、御意見等ありますでしょうか。
よろしかったでしょうか。

- **教育委員（梶田知靖君）** 先ほど御紹介がありました3校と同じというか、運営委員としては同じということですか。議案が分かれているだけで。

- **学校教育課主任指導主事（上北泰久君）** 先ほどの3つについては設置も含まれておりますので、ちょっと議案が違っておりまして、旭小学校は引き続き、昨年度からもうコミュニティ・スクールが、学校運営協議会がスタートしておりますので、その継続ということで議案になっております。よろしく願いいたします。

- **教育委員（梶田知靖君）** ありがとうございます。

それこそコミュニティ・スクールで、私ども教育委員としては、今渡南小学校さんと何か連携、つながりというか、そういったものは。コミュニティ・スクールとはまた…

- **教育長（堀部好彦君）** 協議会の委員としての位置づけではないんですけども、教育委員としての状況の把握だとか、交流というのは当然あると大変いいんじゃないかなあと私は思うんですが、どうでしょうか、課長。

- **学校教育課長（佐野政紀君）** 今、教育長が申し上げたとおりなんですけれども、先ほど各委員さん方から、学校の校長先生との対話を大切にいただいているというこ

とは、毎回感じさせていただいておりますけれども、教育委員さんが校長先生とお話をされるときに、コミュニティ・スクールの運用に当たってどうですかというようなことをその都度お話をいただければ、校長は大変心強いなというふうに思いますので、そういったアプローチの仕方をしていただければと思います。

○ 教育委員（梶田知靖君） はい。ありがとうございます。

○ 学校教育課長（佐野政紀君） よろしいでしょうか。

○ 教育委員（梶田知靖君） はい。

○ 教育長（堀部好彦君） ありがとうございます。

新しい動きですので、先ほど私からもお願いをさしあげた点も含めて、進捗の状況をまた少しでもつかんで、よい動きについては、やっぱり校長会や教頭会でも広めていきたいなあと思いますので、またこの場でいろいろ情報を提供いただけるとありがたいです。

それでは、今御質問1点ありがとうございます。

ほか、よろしかったでしょうか。

〔挙手する者なし〕

では、異議がないようですので、この件については原案のとおり承認をいたします。

報告事項

○ 教育長（堀部好彦君） 次に、報告事項として、令和5年度のキッズクラブ入室申請状況について。

○ こども課長（梅田浩二君） おはようございます。こども課でございます。

毎年この時期に報告させていただいております新年度のキッズクラブの状況について、御説明させていただきます。

お手元でございます別紙資料、令和5年度キッズクラブ入室申請状況を御覧ください。

初めに、1番でございますキッズクラブ申請児童数の推移でございますが、グラフの中段の長めの点線が、年間を通じて利用されます通年という形になります。前年度と比べ18人増の1,056人から申請がございました。

グラフ最下段の短めの点線が、夏季休業など学校の長期休業時のみに利用される長期というものになります。前年度と比べ52人増の353人から申請がございました。

グラフ最上段の実線が、ただいま説明しました通年と長期の合計となります。前年度と比べまして70人増の1,409人となりました。このグラフからも分かるように、前年度に引き続き通年、長期とも申請児童数が増えている状況ですが、特に長期の申請児童数の増加が顕著となっております。

次に、2番のキッズクラブの入室調整の状況について御説明いたします。

なお、こちらの状況につきましては、令和5年2月1日現在の状況でございます。よろしく願いいたします。

まず入室調整の前提条件としまして、学校の終業が早く、家で留守番が難しい低学年につきましては、利用の必要性が高いことから、新4年生までの入室申請を先行して行い、通年から長期への振替も含めた入室調整を行った上、優先的に受入れを行っております。これによりまして、通年においては4年生以下の待機児童は発生しておりません。

ちなみに、1年生から4年生の入室予定者につきましては、前年度と比べ25人増加している状況でございます。

その後、新5・6年生の申請を受け付け、入室調整を行った結果、令和5年2月1日現在の待機者数は、表にございますように、通年で対前年度17人増の29人、長期で対前年度35人増の63人、合計で対前年度52人増の92人となりました。学校ごとの待機者数は、表の一番右に記載したとおりでございます。

なお、キッズクラブの待機児童につきましては、通年、長期とも年度初めに多く発生しますが、子供の成長等もございまして、例年、月が進むにつれて減少し、秋頃までには解消していている状況でございます。現在の待機児童につきましても、徐々に入室が可能となると考えておりますが、保護者からの申立てによりまして、早急に入室が必要な特別の事情があると認められる場合につきましては、年度途中用の受入れ枠として多少の予備がございますので、それにより対応している状況でございます。

2月1日時点で待機者数が最も多い今渡北小学校につきましては、長期休暇時の保育室として、夏季休暇以降となりますが、学校の特別教室を借用することができましたので、夏季休暇以降は長期の待機者は解消するものと見込んでおります。また、今後の待機状況にもよりますが、夏季休業期間中は長期の待機者用として臨時キッズクラブを開設し、対応する予定にしております。

次に、3番のキッズクラブの主な施設整備と受入れにつきましては、1点目として、今渡北小学校第2キッズクラブの新設でございます。2月末に施設本体が完成し、備品等の納品が終了しましたので、当初令和5年度からの運用を予定しておりましたが、年度初めの混乱を少しでも避けるため、利用を前倒しして先週から運用を開始しているところでございます。

2点目は、今渡南小学校の集会室を新たに長期休暇時に利用することといたしました。これによりまして、今渡南小学校の長期の待機者解消にもつながるといふふうに考えております。

簡単でございますが、説明は以上でございます。

○ **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。

申請児童数増加の中で、様々な工夫をしていただきましてありがとうございます。

今の御説明につきまして、御質問等ございますでしょうか。

私から1点いいですか。

今、私も申し上げたんですが、申請状況も含めてなんですが、今のキッズクラブ運営等についての課題というのは、例えばどんなものがあるのでしょうか。

○ **子ども課長（梅田浩二君）** ただいまお尋ねいただきました課題につきましては、幾つかございますが、やはり待機者が僅かであっても出ている状況でございますので、学校といろいろ調整を取りながら、施設をお借りさせていただいたり、必要に応じて、今回今渡北小学校については新しい施設を造らせていただきましたけれども、なかなかどこまで造るかというのは難しい点はございますが、待機者ができるだけ出ないようというふうには考えております。

高学年で少しまだ待機が出ておりますけれども、少しでもその辺、待機を少なくしたいということ、それから受入れ側の施設もそうなんですが、やはり指導員の確保もなか

なか難しい状況でございます。人の確保が、この業種に限らずいろんな部分で不足している状況が続いております、年間を通じて人の採用に向けたことは進めておるんですが、なかなかそこも集まりが難しかったりとか、研修を受講して取得する支援員というんですが、そちらの資格を取っていただく必要も出てくるんですが、そういったものも、例えば保育士とか教員免許をお持ちのような方は、すぐその研修が受けられるんですけども、そういったものがない方については2年間の実務経験が必要になるということで、そういったことを終えてから支援員の資格を取るということで、支援員もたくさん増やしていきたいところでございますが、そういった状況もございまして、思うようには進まないというような現状でございます。以上でございます。

○ **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。

そうしますと、例えば今必要な支援員といえますか、必要な人員が確保できていない状況ですか。

○ **こども課長（梅田浩二君）** 支援員につきまして、ちょっと今日その数字を手元に持ってきておりませんが、キッズクラブが、11の小学校区で通年というふうで使っているものが三十幾つほどの支援教室単位ありまして、支援員の資格を持ってみえる方が70名ほどお見えになりますので、基本的には2名程度、そういう支援員の資格をお持ちの方の配置を机上上はできるんですが、どうしてもお休みを取られたりとか、そういったシフト上そろわなかったりというようなこともございますので、少しでもたくさん支援員の方をつくりたいというふうに考えておりますが、やはり指導員をやられている方の多くは定年退職された方、あるいは主婦層の方などがやっぱり中心になってまいりますので、そんなに長くお勤めいただけなかったりとか、やっぱり70歳ぐらいになって高齢になってきたので、子供たちのスピードについていけないので、ちょっと辞めたいというようなお話、そういったものもございまして、なかなかうまくいって進まないというか、支援員が足りないわけではございませんが、少しでも多くしたいということで進めている状況でございます。

○ **教育長（堀部好彦君）** 御丁寧に説明ありがとうございます。

よろしいですか。

○ **教育委員（小栗照代君）** ありがとうございます。

キッズクラブのことでいろいろと御尽力いただいて、本当にありがたいなと思っているんですけども、今、小学1年生の壁というようなことで、いろいろ重要だと言われていると思います。例えば保育園・幼稚園から小学校に上がってくると、今まで3時、4時まで見ていただいていたのが、いきなり最初の特に1か月間というのは子供たちが早く帰ってきて、それにより主に多分女性、ママになると思うんですけども、お母さんが仕事の調整をしなければいけないということで、最近ニュースにも出ていたと思います。数字はちょっと定かじゃないんですが、半分以上の方がどうしても仕事の調整をしなければいけないということで、調整したというようなデータも出ていたと思うんですけども、そういったお声というのは届いていらっしゃるのでしょうか。実際どうなんでしょうか、可児市としては。

○ **こども課長（梅田浩二君）** 基本的に、先ほど申しましたように、やはり小さい学年の方のほうが保育の必要性が高いということで、基本的に1年生について待機児童

は全く出ておりません。3年生、4年生までは基本的には受けるという姿勢を取っておりますので、ただ、キッズクラブに最初からなじめるのかどうかというところは、やっぱり個々いろいろ難しい問題はあるかもしれませんが、保育を受け入れる側としては、キッズに入りたいけど入れないというような状況は、今のところは発生していない状況でございます。

- **教育長（堀部好彦君）** よろしいでしょうか。
- **教育委員（小栗照代君）** 申込みをいただいている方は、調整後の方というようなことなのか、可児市としては、そういった調整しなくてもいいように皆さんが申込みをされているのかというところがやはり課題なのかなというふうに思います。
- **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。
- **教育委員（長井知子君）** ちょっとお話しいただいたかもしれないんですけど、もう一度教えていただきたいんですが、私は広見小学校に子供が通っていたんですけども、校長先生、教頭先生とお話ししていたときに、キッズクラブをつくる部屋がない、つくるのが大変だと毎年言われていたんですけども、待機児童のこの数字は、部屋をつくるのが難しいとか、あとは指導者とか、指導員の方の不足で出ている数字なんですか。
- **こども課長（梅田浩二君）** それぞれいろんな状況とか違いますが、今年は特に今現状では多い状況です。子供さんは全体的には減ってきている中で、保育のニーズはまだ高まりがありまして、ここで見ていただいたように、キッズクラブについても申請数は増えている状況でございます。どこまで対応できるように施設整備等をすべきなのかというところは難しいところがございますけれども、一応学校さんには非常に御協力をいただきながら、できれば私どもも全員お受けできるものならしたいという姿勢ではおります。ただ、最低限4年生ぐらいまでは何とか受けられるような形で進めております。

そういった中で、施設を造るとなると、やっぱり40人ぐらいの学級のものになると思うんですけども、それを造って、二、三年で必要性がなくなってしまうということではやっぱりもったいない状況ですので、学校との部屋等の調整をしながら、どうしても必要なもの、今渡北小学校については、今回少人数学級の関係でクラスがどうしても足りなくなる、もう少しで足りなくなるというような状況下の中で建設をいたしました。今後は新しいものを造っていくというのは、子供さんの状況から見ても、そんなに多くないのかなあと。そんな中で、学校さんに御協力をいただきながら、学校施設をお借りしながらやっていく必要があるのかなあとというふうには考えております。

- **教育委員（長井知子君）** ありがとうございます。
- **教育長（堀部好彦君）** ほか、よろしいですか。
- **教育委員（梶田知靖君）** これは、こども課さんには直接関係ないお話かもしれませんが、今渡北小学校さん、新しく造られて、やっぱり今渡北小学校のグラウンドがどんどん狭くなっているなというイメージが、この前も卒業式にお邪魔したときに、狭くなっているなあとということで、今年度は低学年と高学年でたしか分かれて運動会を開催したということをお聞きしたんですけども、今後運動場を広げるなんていうのは多分難しいお話でしょうから、やっぱり県下の小学校でもありま

すので、今渡北小学校さんは。何か例えば今渡南小学校さんと連携を取って、練習も難しいかもしれませんが、今渡南小学校さんが運動会の際は今渡北小学校を、たしか自分の子供が通っていたときに、駐車場のそういうことはやっていた記憶がありますけれども、今渡北小学校さんの子供たちが今渡南小学校の運動場で運動会をやるとか、すみません、私ちょっと今思いつきでお話ししているだけです。あれなんですけど、そういった運動会とか、運動場のスペースについて何かどうかなあと思いましてお聞きしました。

- **教育長（堀部好彦君）** 貴重な御意見ありがとうございました。それについては、ぜひ校長と直接面談のときに話題にしてもいいんじゃないかなあということも思いました。ありがとうございました。

では、こども課長にということで質問はほかよろしいでしょうか。

〔挙手する者なし〕

それでは、キッズクラブの入室申請状況についての説明ありがとうございました。

- **こども課長（梅田浩二君）** ありがとうございました。
- **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございました。

各課所管事項

- **教育長（堀部好彦君）** 次に、各課所管事項に入ります。
- **事務局長（渡辺勝彦君）** それでは、私のほうから3月議会に関して、先ほど教育長から若干お話をされましたが、この3月24日に3月議会が閉会しました。

一般質問に関しましては、教育委員会関係に関するものとして5件ほどいただいております。

まず1つ目として、本市の学校図書館図書整備5か年計画への対応についてということで、澤野議員からいただきました。文部科学省が示す学校図書標準という指標がございますが、本市はどの学校もその指標を達成しています。図書の廃棄・更新につきましても、学校司書が学校図書館ガイドラインにのっとり、対応しています。現体制を維持するとともに、図書とICTを併用して、それぞれのよさを生かした多様な教育を大切にしていきたいというふうに答弁させていただいています。

それから、市内に夜間中学を設置するよう県に働きかけをということで富田議員から御質問いただいています。これに関しては、今年度は、来年度県で行われるニーズ調査の事前調査が行われましたが、現段階としましては、そういった夜間中学を必要とする方がどれだけいるか分からない状況であるので、県の調査に協力するとともに、県の動向を注視していくと答弁しております。

それから、同じく富田議員から、コミュニティ・スクールを始めるには十分な準備をということで御質問いただきまして、本市で行われてきたコミュニティ・スクールに対する取組であるとか、導入の考え方について説明をしています。旭小学校での実践と成果、各校での情報共有と研修の状況についても説明させていただいて、PTA連合会などの関係団体については、教育長自らが啓発に当たっていることも紹介させていただきました。先ほどの教育長の話にもありましたが、この事業の肝は、地域の皆さんが当事者意識を持って、どんな子供を育てたいか、目指す方向を一致させることが大事である

と。議員が言われるように、地域の十分な理解がないと進められない取組であるため、地域の理解が得られるよう、事前の協議もしっかりと行っていききたいというふうに答弁しております。

それから、学校給食費への助成制度の創設をということで、伊藤健二議員から御質問いただいております。学校給食の費用負担については、学校給食法で給食材料費などは保護者が負担することが規定されています。現状においては、無償化については考えていないと答弁しました。ただ一方、保護者負担の軽減に関しましては、既に国の交付金を活用して食材費の急騰分を市が負担するとか、既に実施しております。今年度実施しましたががんばれかにつこ！おうえん給食のような、子供たちが笑顔になれる給食メニューの提供に努めていきたい。また、来年度子育て施策全般について協議する中で、学校給食費についても協議していくというふうに答弁しております。

それから最後ですが、トイレの洋式化についての対応について、山田議員から御質問いただきました。トイレの洋式化に当たりましては、文部科学省が示す通知に従って、バリアフリー化、多様性への配慮を十分考慮した設計を行いたいと答えております。国が中長期計画で示す洋式化率95%については、令和8年度を目指しています。設計上、和便器を残すというような考えはないが、施設の状況や学校の意見を聞いて柔軟に対応していきたいというふうに答弁をさせていただきました。

新型コロナの感染が広まりまして、もうこれで3年以上になろうかと思いますが、この3月13日からは、マスクの着用については個人の判断となるなど大きな変化を迎えています。この3年間、各学校では陽性者や濃厚接触者への対応や公表の仕方など、その都度、国の方針に合わせて対応の仕方も見直しをしてきました。そんな中、急な学級閉鎖とか学年閉鎖、児童・生徒や保護者への連絡に加えてICTを使った学習保障など、各学校ではいろいろと苦勞をしてきたところではございます。

こういったところですが、5月からは2類相当から5類に移行して、法的な取扱いも変わってきます。ただ、これで元に戻るかというと、多分また違った形で学校運営の苦勞は続くというふうには考えております。各学校では、引き続きの感染予防対策に配慮しながら、今後また示される国・県の通知に注視して適切に対応していきたいと考えておりますので、どうぞ引き続きよろしく申し上げます。

私からは以上です。

- **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。
- **教育総務課長（飯田晋司君）** 私からは報告1点、それから連絡事項、二、三点ほどお話をさせていただきます。

まず報告ですが、令和5年度の学校のプールの授業の開催に向けた準備について、状況を報告させていただきます。

令和2年度から4年度までの3年間、コロナの影響でプールの授業の開催が中止されてきました。プールの授業につきましては、令和3年度の議会一般質問でも、コロナの影響が落ち着き、感染対策ができれば再開したいという旨の答弁をしております。

それを踏まえて令和5年度は開催する前提で、令和4年度、今年度教育総務課のほうで施設等に係る準備を進めているところでございます。準備としましては、3年間使っていなかったことによって不安視されているプール槽やプールサイド、ろ過器などの状

態について、事前に事務局と業者で調査を行っております。それによって、6月からの授業開催のために修繕が必要になったり、それ以外の学校でも、清掃後に再確認を要することが分かってまいりました。それらを踏まえまして、修繕や学校による清掃の時期についてスケジュールを立て、校長会などで学校に負担をおかけすることになる、例年よりも早まる清掃時期などについて了解をいただき、調整をしております。

以前であれば、ゴールデンウイーク明けの暖かくなった時期にやっていたいているプール清掃を、今年は多くの学校に4月中旬にやっただくようお願いしておるところなんですけれども、早いところではもう既に実施をさせていただいたなど、各学校とも協力的、柔軟に対応していただいているところがございます。教育委員会としまして、高圧洗浄機を購入して学校に貸し出すなど、学校が少しでもやりやすくなるように対応しているところがございます。

以上、6月からのプールの授業開催に向けて、学校、教育委員会が協力して現在進めているところがございます。御承知おきいただければと思います。

それから連絡事項ですが、お手元にお配りした資料、教育委員会名簿、表で黄色い帯がついている、こちらは例年この時期に改めて配らせていただいております。4月1日現在の名簿、担当校、充て職などを記載しております。また内容を御確認いただき、万が一誤り等あれば、一言お申出いただければと思います。

それから、その後に薄い色でのカラー刷りになっている令和5年4月からの充て職の一覧というか、年度ごとの充て職の予定でございます。このような順番になっておりますので、御承知おきをいただければと思います。

それから、次に令和5年度教育委員行事・会議予定表でございます。1年間の主な予定を今分かっている範囲で入れております。また御確認をお願いしたいと思います。なお、11月10日につきましては、以前もお話しさせていただいております市町村教育委員会連合会の研究総会、a1aで開催されるということで、県内の担当市ということでございますので、御予定をお願いしたいと思います。

私からは以上でございます。

- **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。
- **学校教育課長（佐野政紀君）** お願いします。

2月17日以降、学校に関わる新型コロナウイルス感染症の陽性判明の報告をまずさせていただきます。小・中学校合計104名です。教職員につきましては5名の報告を受けております。学級閉鎖は1校1学級でした。また、インフルエンザの感染に伴う学級閉鎖は1校1学級ありました。現在、春休みに入っておりますので、閉鎖している学級はありません。

前回の教育委員会会議でも、学校には、心配される児童や生徒に対して家庭への連絡等を行い、学校始まりを迎えられるように配慮する指導をしていることをお話しさせていただいております。春休みに入りました。間もなく新年度のスタートを迎えることとなりますので、引き続き丁寧に寄り添っていきます。

特に希死念慮の報告につきましては、毎回紹介させていただいておりますけれども、継続して担当指導主事が可茂教育事務所に報告して、対応について情報共有をしております。学校の生徒指導主事と連絡をふだんから大切に、確認をしているところです。

今回の主な希死念慮の要因は、同級生の物言いがきつい、同級生からリストカットを指摘されることがストレス、楽器がうまく弾けずにいらした、原因は分からないなど様々です。

3月に入ってから動きについて、簡単に説明をさせていただきます。

3日に臨時教育委員会会議にて人事内申書を見ていただき、その後、学校への内示を進めました。本日、新聞各社が報道したところです。

7日の中学校卒業式、23日の小学校卒業式、教育委員の皆様にも出席をいただきました。本当にありがとうございました。制限はありましたが、合唱や式の隊形など、各学校の工夫で実施を進めてきました。本日の会議も含めまして、教育委員さんからの温かい評価は学校にも励みになりますので、4月当初の校長会、教頭会で、教育委員さんからのお言葉はこういう評価だったよということを伝えていきたいなというふうに思っております。

24日、小・中学校の修了式を迎えることができました。

新年度につきましては、4月7日の入学式・始業式から前期が始まり、後期の始まりは10月11日となる予定です。

本年度も御指導、御支援をいただきありがとうございました。次年度もよろしく願います。以上です。

○ **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございました。

○ **学校教育課主任指導主事（上北泰久君）** すみません、1点連絡があります。申し訳ありません。

皆様の机上に、令和5年度の体験学習予算案についての資料を置かせていただいています。このことについて説明させていただきますので、お願いします。

各学校から企画書と予算書を提出していただきました。この資料を基にして、地域見学体験費、講師謝礼、体験活動材料費、記録費・通信費・事務費等の予算を立てました。予算は、今年度と同様の1,140万円になります。

予算の内訳なんですけれども、修学旅行や宿泊研修等の体験費、それからバス代の補助、そして各学校の体験学習に充てています。体験学習の内容として、少しだけ口頭で説明させていただきます。茶道、生け花、大豆や米、野菜等の農作物、飼育、陶芸、雅楽、工作、音楽療法、各種クラブ活動、和太鼓、和楽器、琴、職業講話等になっています。これらの費用につきまして、先ほどお話しさせていただきました地域見学体験費、講師謝礼、体験活動材料費、記録費・通信費・事務費等を踏まえて令和5年度決定額になっています。各校の特色を生かし、体験活動を実施していきますので、よろしくお願いいたします。

以上です。お願いします。

○ **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございました。

○ **教育研究所主任指導主事（三宅愛彦君）** お願いします。

では、別冊の教育研究所よりを御覧ください。

私から大きく2点お願いいたします。

1点目、表紙裏面、2ページの下段より3ページにかけて御覧ください。

(1)、前回の教育委員会会議で教育長が話されましたが、初任者研修についての報告

です。可児市主催の最後の初任研でしたが、教育長と川原スクールカウンセラーに御講話をしていただきました。初任の先生方には多くの学びがありました。その一端を感想として3ページのほうに載せておきましたので、お時間のございますときに御一読いただければと思います。

2点目です。

3ページ、(2)令和5年度新規採用教職員研修会についてです。既に教育委員の皆様には案内を郵送させていただきましたが、今回は4年に1度の岐阜県議会の議員選挙と重なってしまったため、会場を市役所4階の第1会議室で行います。例年行っておりまう総合会館の5階大ホールより狭い会場ですので、校長先生方には参加を見合わせていただき、そこにありますように、40名弱の参加者で行います。令和5年度、可児市には23名の初任者の先生方においていただきますが、今回は校長先生ではなく、初任者のお一人お一人から自己紹介を簡単にさせていただこうと思っております。年度初めのお忙しいときかとは思いますが、御参加のほどよろしく願いいたします。以上です。

○ **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。

○ **学校給食センター所長（佐藤一洋君）** 給食センターです。

先ほど事務局長の話からも、がんばれかにつこ！給食というのが出ましたが、令和4年度にがんばれかにつこ！おうえん給食ということで、子供たちがとにかく喜ぶものということで令和4年9月に実施しました。これについて、令和5年度も引き続きやっいてこうということになりました。令和5年度は毎月1回、がんばれかにつこ！給食というのをやっいていきます。名前も「がんばれかにつこ！おうえん給食」という名前だったのが、「がんばれかにつこ！給食」で今回令和5年度はやっいていくということで考えております。目的としましては、子供たちが楽しんで食べる中で、可児市に愛着と誇りを持ち、将来的に可児市の魅力につながるような給食を提供するということで考えております。

こちらの4月のほう、先ほど配りました献立を見ていただきたいんですが、4月20日、がんばれかにつこ！献立ということでありまう。香りたくあんあえ、シシャモの米粉揚げ、タケノコ御飯、蜂蜜レモンゼリーがあります。今回の4月のものについては、タケノコ御飯です。こちらのほうががんばれかにつこ！ということで地域の食材を使っいて、楽しんで食べてもらいながら地域に対して興味を持っいてもらう、誇りを持っいてもらうみたいなことやっいていくことになりまう。可児のお米「ほしじるし」というのをタケノコ御飯は使う予定でありまう。あと、今食材費が上がっいてきて、なかなかデザートが正直これから厳しくなっいていく中ですが、蜂蜜レモンゼリーをこの日はつけるということで考えております。

このように、毎月20日前後、19日とかぐらいになるかと思っいてまうが、特別な献立ということで、可児とか岐阜の食材を使っいて、それについて親しんでもらう、楽しんでもらうみたいなことやっいていきたいと考えております。また、併せてデザートもちょっといいいものをつけれたらと考えております。

ちなみに、5月は可児のお茶を使っいてちくわのお茶天ぷらみたいなものを5月は考えておりますので、願っいてしたいと思っいてまう。

私からは以上でございまう。

- **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。
ただいまの各課からの報告につきまして、御質問、御意見いかがでしょうか。
- **教育委員（梶田知靖君）** 先月、可児市長さんとお話をさせていただいた中で、今月末に報告を楽しみにしておいてくださいとおっしゃっていたんですけど、事務局長さんのほう、何かお聞きしていらっしゃるかなと思ひまして。
- **事務局長（渡辺勝彦君）** 実は、議会の最終日に議会全員協議会を開いて、そこで市長から直接お話しされたことがあるので、多分そのことが市長が3月にお話しできるという話だというふうには理解していますが、ただ全員協議会もオープンな席ではない話だったので、今それをどこまでお話ししていいのかというのがちょっと分かりかねる部分もあるので、ちょっとそれは確認の上、またお伝えしたいなあというふうに思いますので、よろしくお願ひします。
- **教育委員（梶田知靖君）** ありがとうございます。
- **教育長（堀部好彦君）** ほか、よろしいですか。

〔挙手する者なし〕

ありがとうございます。

委員からの提案協議事項

- **教育長（堀部好彦君）** それでは、次に教育委員からの提案協議事項についてを議題といたします。
何かございますでしょうか。
よろしいですか。

〔「なし」の声あり〕

その他

- **教育長（堀部好彦君）** では、次にその他の次回の日程等について。
- **教育総務課長（飯田晋司君）** 先月決めていただきました4月14日金曜日午前9時から、4階の第3会議室でお願いいたします。
5月の定例会ですが、5月26日金曜日はいかがでしょうか。
大丈夫ですかね。

〔「はい」の声あり〕

では、5月26日の9時からということでお願いいたします。以上です。

- **教育長（堀部好彦君）** それでは、5月につきましては26日ということでお願いしたいと思ひます。
このまま続けていきたいんですが、よろしいですか。
すみません、ちょっと長時間になっておりますが、次の会議の前に休憩ということにしたいと思ひますので、よろしくお願ひします。

（以下非公開）

（以上非公開）

閉会の宣告

- 教育長（堀部好彦君） 以上で全て終わりましたので、これにて教育委員会会議を閉会します。ありがとうございました。

閉会 午前10時53分